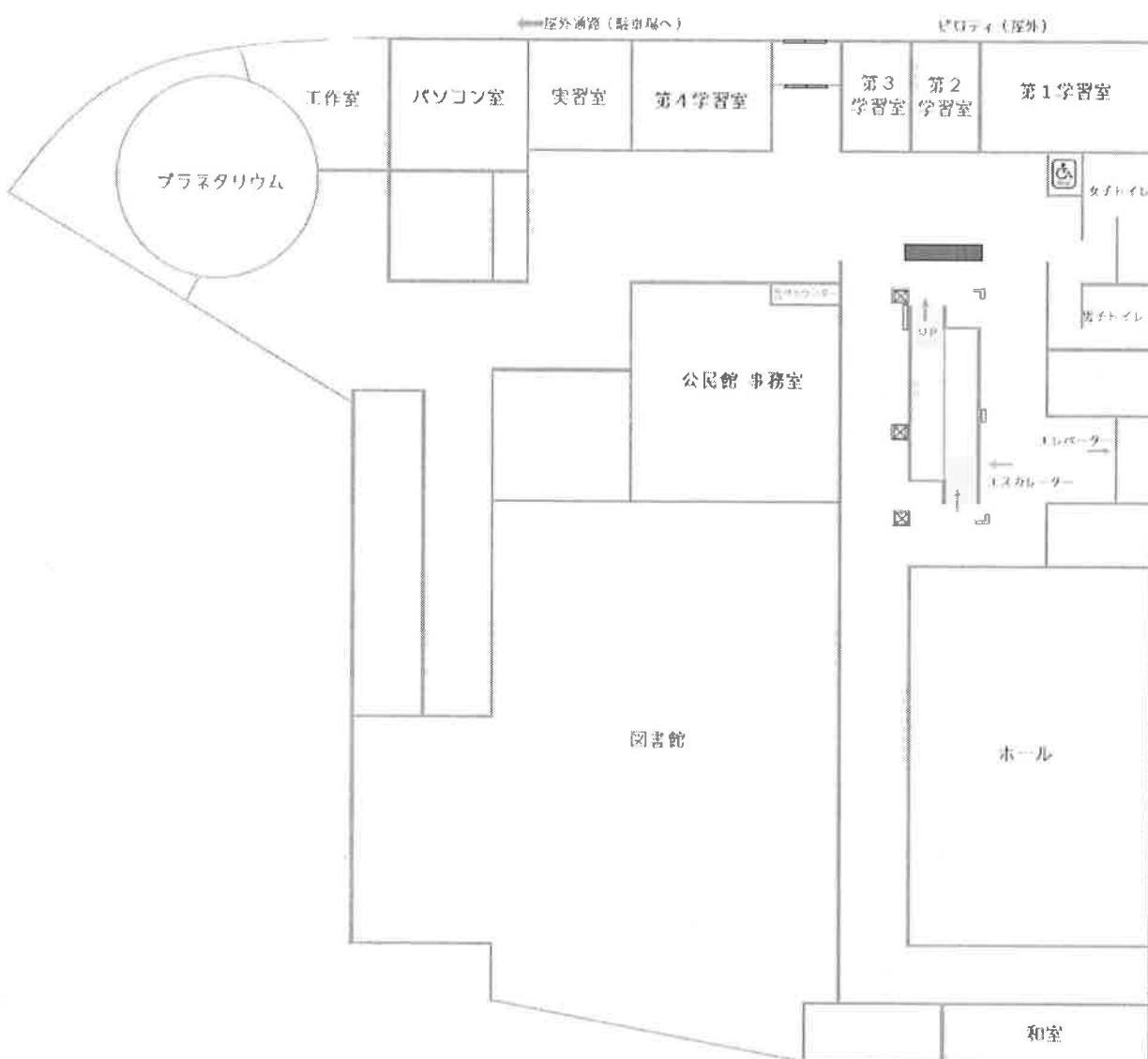


牧志駅前ほしざら公民館



利用施設のご案内

牧志駅前ほしざら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部屋名	収容人数	用途(備品)
ホール	120人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	30人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実習室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台(4台)、料理用器具等)
パソコン室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工作室	15人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和室	15人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしざら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしざら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあった。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

- 昭和54年4月4日 公民館の施設提供が開始された。
5月8日 プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年4月23日 久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成2年4月19日 久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月7日 第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成9年10月30日 第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年4月30日 施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年7月8日 久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしざら公民館の沿革

牧志駅前ほしざら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、牧志駅前ほしざら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

- 平成23年7月8日 久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしざら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日 牧志駅前ほしざら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年3月 旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年3月4日 第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成28年4月1日 館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年4月1日 館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。

II 平成30年度牧志駅前ほしざら公民館事業目次

1 学習風景（写真）	149
2 成人一般対象事業	
〔1〕市民講座	
◇プロから学ぶ片付けの裏ワザ！	150
〔2〕成人講座	
◇再チャレンジ 星空準案内人になろう	151
3 高齢者対象事業	
〔1〕高齢者学級	
◇戦後の学校はじまりと変遷その概要	152
◇シニアのための健康長寿講座「からだと脳を活力UP！」	153
4 青少年対象事業	
〔1〕少年教室	
◇親子ヨーヨー教室	154
◇夏休みマンガ教室	155
◇星座かさを作ろう！	156
〔2〕親子ふれあい教室	
◇親子星空教室	157
5 家庭教育事業	
〔1〕家庭教育学級	
◇宇宙の学校	158
〔2〕乳幼児学級	
◇にゅうじランド	159
6 その他の事業	
〔1〕地域連携事業	
◇いまさらだけど防災について考えてみよう	160
〔2〕プラネタリウム事業	
◇星空観望会	161
◇プラネタリウム特別無料投影 星と音楽のコラボ（夏）ハワイアンヒーリング	162
◇プラネタリウム七夕特別無料投影	163
◇「一夜漬け！チャレンジ夏の星空案内」	164
◇プラネタリウム特別無料投影 星と音楽のコラボ（冬）星と奏でるナハトムジーク	165
7 公民館まつり	
◇公民館まつり プラネタリウム特別無料投影	166 168

1 学習風景

市民講座

「プロから学ぶ片付けの裏ワザ！」



少年教室

「親子ヨーヨー教室」



親子ふれあい教室

「宇宙の学校」



高齢者学級

「紅型エコバックつくり」



乳幼児学級

「にゅうじランド」



親子ふれあい教室

「親子星空教室」



2 成人一般対象事業

[1] 市民講座

プロから学ぶ片付けの裏ワザ！

趣 旨：終活、断捨離、整理・収納術の中で時期的にも年末の大掃除に間に合う片付け方法をプロから学び心地良い空間作りを目指す講座を実施する。

期 日：平成30年12月12日（水）・12月19日（水）（全2回）

時 間：15:00～17:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしざら公民館（第1学習室）

対 象：那覇市在住、在勤18歳以上

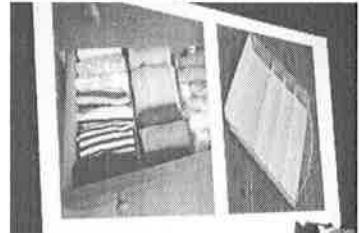
受 講 料：無料

定 員：20名

申込人数：25人（うち受講決定人数22人）

参加延べ人数：37人

講 師：とうやま ちえみ



《学習プログラム》

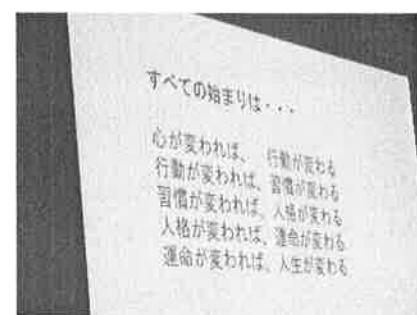
回数	期 日	学習内容	参加人数
1	12月12日（水）	☆ 開講式 ☆ 無駄を無くし、心地良い空間作りを学ぶ！	20人
2	12月19日（水）	☆ 自分にあった片付け方法を学ぶ！ ☆ 片付けは自分流でOK！	17人

(参加者の声)

- 工夫すると楽しくなるという考えが身についたから、リメイクの楽しさが分かりました。
- 一人ひとりが自分のことを話すことで講座を聴いてるだけの第三者的態度ではなく、参加型でとても良かったです。みんなの思いも聴けて良かったです。
- 講座の企画は良かったです。時期や時間の取り方も良かったです。片付けの本や雑誌などで知っている内容と重なることが多かったです。
- グループワークがとても良かったです。初めてお会いする方々とお話をすることが出来てよかったです。ただ片付け、片付けと思っていたのですが、「こうしたい」という理想が抜けていたと反省しています。
- 牛乳パック、紙袋、活用！とても勉強になりました。紙袋も捨てられない物としてとりおきしてたので良かったと思います。次回も楽しみにしています。

(まとめ)

- 今回の講座は講師の話を聴くだけではなく、工作やグループワークもあり色々工夫された講座だと思いました。受講生も他の受講生の話を聞くことが出来て良かったと思います。



[2] 成人講座

再チャレンジ 星空案内人になろう

- 趣 旨**：平成19年度から10年間継続している星空案内人講座だが途中で挫折した方々が大勢いる。その方々からも要望があり、再チャレンジと題して育成講座を企画。地域で星空を案内できる人材を育成する。
- 期 日**：平成31年1月13日（日）・1月20日（日）・1月26日（日）全3回
- 場 所**：那覇市牧志駅前ほしづら公民館
- 対 象**：ほしづら公民館で星空案内人養成講座を受講したが、準案内人の資格要件を満たせなかった方
- 受 講 料**：無料
- 定 員**：20名
- 申込人数**：22名
- 参加延べ人数**：112名
- 講 師**：垣花 正男（元プラネタリウム操作技師）
瀬名波 任（琉球大学非常勤講師）
米原 英樹（宇宙少年団名護分団リーダー）
田端 研二（那覇市牧志駅前ほしづら公民館）



期 日	時 間	内 容	講 師	人 数
1月13日 日曜日	10:00～12:00	さあ、はじめよう	田端研二（牧志駅前ほしづら公民館長）	13名
	13:30～15:30	望遠鏡のしくみ	米原英樹（宇宙少年団名護分団リーダー）	14名
	16:00～18:00	星座を見つけよう	垣花正男（元プラネタリウム操作技師）	16名
	19:00～21:00	望遠鏡を使ってみよう	米原英樹（宇宙少年団名護分団リーダー） 田端研二（牧志駅前ほしづら公民館長）	15名
1月20日 日曜日	10:00～12:30	宇宙はどんな世界	瀬名波任（琉球大学非常勤講師）	14名
	13:30～15:30	星空の文化に親しむ	田端研二（牧志駅前ほしづら公民館長）	15名
	16:00～18:00	星空案内人の実際	田端研二（牧志駅前ほしづら公民館長）	17名
1月26日 日曜日	19:00～20:00	認定式及び閉講式	田端研二（牧志駅前ほしづら公民館長）	8名

参加者の声

- ☆ 一度来れなくなり、断念していたのですが良い機会をいただきありがとうございます。短期集中型で助かりました。
- ☆ 初めて知る知識もありましたし、知っているお話をワクワクして楽しかったです。住まいが少し遠いですが努力して通いたいです。
- ☆ 短期間で、準案内人になれるのはありがたいです。望遠鏡の動かし方や注意点などの講座があればいいな。
- ☆ 子連れでの参加を許可して頂きありがとうございました。楽しく受講できました。
- ☆ 2日間での講義は短かったです。一度に終わるのは良い点だったです。

まとめ

- ☆ 昨年で10年一区切りをつけた「星空案内人」の講座だが、途中でリタイヤした方々から再チャレンジしたいという声があがり短期集中型の講座を開くことになった。学ぶ範囲も広く時間も長いためハードな講義になったが、受講生のキラキラする眼を見ていると何歳になっても学ぶ姿勢に感銘を受けた。これからは地域に戻り、いろんな形で星空にかかわって行くのであろうが、「星空案内人からステップアップし「星のソムリエ・星空案内人」に何名チャレンジするか楽しみである。

3 高齢者対象事業

[1] 高齢者学級

戦後の学校はじまりと変遷その概要

趣 旨：シニアが学んだ戦後の那覇市的小学校の変遷を知つてもらうとともに、当時を回顧する。
那覇市の教育史を振り返り、現代教育との違い等を確認しながらお互いの記憶をたどり当時を
懐かしむ。

期 日：平成30年5月21日（月）

時 間：14:00～16:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしづら公民館（第1学習室）

対 象：那覇市在住、在勤者で概ね60歳以上

受講料：無料

定 員：30人

申込人数：21人（うち受講決定者数21人）

参加人数：18人

講 師：島袋 文雄（元那覇市教育史編纂主任）



《学習プログラム》

期日	学習内容	参加人数
5月21日（月）	開講式 講話 【戦後の学校はじまりと変遷その概要】 質疑・応答 島袋講師へ聞きたいこと	18人



【受講生感想】

- ・教育の変遷は改めて学びの機会に出会えてよい機会でした。
- ・すばらしいたくさんの資料ありがとうございました。しっかり読んで今後活用できたらと思います。
- ・用意された資料がたいへん説明が詳しく勉強になった。
- ・講師の生き方について楽しく聞くことができ、高齢者の日々の過ごし方・心がけ等の話は大変参考になりました。
- ・懐かしく昔を思い出し、楽しかったです。
- ・とても内容が濃く、多くの方々に聞いてほしいなと思ったし、知らないことを知り知識が増え、学ぶ事を続けて行きたい、良い一日でした。

【まとめ】

- ・当初、受講申込みは先着順で30名の募集であったが、18日時点で15名の申込みであったので当日申込み可能とした。本講座を先着順の当日参加可能としたことで、受講者が増えたのは良かったと思う。
- ・受講者の名札は、（当日参加可としたことで）本人にて記入のこととしたが、一部の受講者から名札は前もって事務局で準備して欲しいとの感想があった。担当者は今回のケースでは、名札不要との感想。
- ・島袋講師から本人のエッセー集3冊の提供があり、講座の最後にくじ引きで3名の方に贈呈し喜ばれた。
- ・質疑・応答でマイクは2本準備すべきだったと反省。

シニアのための健康長寿講座『からだと脳を活力UP！』

趣 旨：シニアを対象に日々の生活に『自分自身で身体と脳の健康長寿』を習慣づけていきいきと暮らすヒントを提供する。
シニア同志の交流でお互いを刺激しあいながら、潤いのある生活を提案する。

期 間：平成30年11月22日（木）～29日（木）

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしごら公民館（第4学習室・工作室）

対 象：那覇市在住、在勤者で概ね60歳以上のシニア

受 講 料：無料（但し、24日材料費1,500円・29日保険料100円は自己負担）

定 員：各講座20人

参加延べ人数：55人

《学習プログラム》

期 日	内 容	担 当 講 師	申込人数 (受講決定人数)	参 加 人 数
11月22日 (木)	『操体法』で健康長寿	日本操体学会 正会員 比嘉 幸子	21人 (21人)	15人
11月24日 (土)	紅型エコバッグづくり (色さしのみ)	長山びんがた 通商産業大臣認定 伝統工芸士 長山 幸子 沖縄県工芸士 石嶺 麻子	7人 (7人)	6人
11月26日 (月)	シニアのための IT・AI入門塾	琉球大学非常勤講師 大森 洋介	22人 (22人)	20人
11月29日 (木)	ウォーキング講座& 壺屋・牧志まーい	那覇まちまーいガイド 大沼 哲雄 那覇市スポーツ推進委員 村木 実由紀	20人 (20人)	14人

【受講生感想】

- ・受講したい講座のみ申込みとした企画内容（各回の講座内容が違う）が大変よかったです。（講座内容によって受講希望が違うので）
- ・時代の主流であるIT・AIについての講座は、企画内容が大変良く、新しい世界を楽しく学ぶことが出来たのでうまく活用したい。
- ・各講座とも《楽しかった・興味があり勉強になった・受講して良かった》との感想が多数あります。

【ま と め】

- ・本講座を市民の友11月号に掲載して各家庭に広報すべく8月から準備し、SNSや新聞掲載も活用してチラシ作成・配付を600枚に抑えたが、実費負担がある講座には応募が少なかったように思いました。（講座ごとに定員を変えての募集が良かったと感じた）
- ・先着順での申込み受付や定員に達するまで受付としたことは、受講申込者や当方としても、抽選が無く個人情報保護の点で良かった。名札準備も不要と思い（講師に確認して）作成・交付無しとしました。
- ・各々の講座毎に（講師に時間の配分や配付資料等の確認をしてレジメを作成）配付したのは良かったと思う反面、反省点は、講座設定日の間隔が短く準備等に多少無理が生じたことである。



4 青少年対象事業

[1] 少年教室

親子ヨーヨー教室

趣 旨：スポーツヨーヨーとして、進化し競技として若者文化に浸透しているヨーヨーを、親子で体感し学ぶことで夏休みの思い出、共通の話題つくりを目指す。

期 日：平成30年8月5日（日曜日）

時 間：14:00～17:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしざら公民館ホール

対 象：小学校1年～3年の親子

受 講 料：無料（但し保険料として100円は自己負担とする）

定 員：15組

申込人数：13組27人（兄弟組含む）

参加延べ人数：27人

講 師：山田 親睦（沖縄ヨーヨー研究会）



《学習プログラム》

時 間	内 容
14:00～14:30	開校式・講師紹介・デモンストレーション
14:30～15:30	ティーチング（4グループに分かれて指導）
15:30～15:40	～ 10分休憩 ～
15:40～16:40	ミニコンテスト
16:40～16:50	講師のパフォーマンス
16:50～17:00	表彰式・閉講式



（参加者の声）

児童

- ★ はじめは難しかったけど、先生が教えてくれると出来るようになった。わかりやすくて楽しかった。
- ★ 全くできなかったけど、出来るようになった。
- ★ 技が出来るようになって、とても良かった。

保護者

- ★ 子どもがヨーヨーをやりたがっていたが上手く出来ずにいたところ今回の講座があり参加した。糸の向きや基本を教えてもらえとても良かった。
- ★ 講師の方のパフォーマンスが素晴らしかった。私の知っているヨーヨーの次元を超えていた。ダンスだったり、糸とヨーヨーが離れたりとびっくり！これを見ただけでも受講して良かった。
- ★ 時間が長かったため小学校2年生の息子のモチベーションが持続せず難しかったが、ミニコンテストで持ち直し最後はとても楽しく終われたので良かった。

（まとめ）

3時間の長い時間を低学年の子どもたちが飽きずにいられるか心配だったが、沖縄ヨーヨー練習会の皆さんの頑張りで少人数によるグループ指導や細かい技の説明、最後にミニコンテストを持ってくるなど盛りだくさんで楽しく終わることが出来た。初級・中級・上級とステップアップできる講座の希望など、嬉しい声もいただけた。保護者世代のヨーヨーと現在のスポーツヨーヨーの違いを体感し親子で楽しんでもらえた時間を過ごすことが出来た。

夏休みマンガ教室

趣 旨：公民館利用が少ない中学生の関心があると思われるマンガ作成教室を開校し、公民館を認知してもらい来館利用率アップを目指す。
漫画家志望の中学生に技術的な指導を行い、目標達成のサポートをする。

期 日：平成30年8月13日（月）
時 間：14:00～16:00
場 所：牧志駅前ほしぐら公民館 第1学習室
対 象：那覇市在住・在学の中学生
受 講 料：無料（但し、材料費500円の自己負担）
定 員：20名
申込人数：8名（うち受講決定人数8人）
参加延べ人数：8名
講 師：sacom waraks 代表 高嶺 太一
助 手：与那嶺恵里奈



《学習プログラム》

- ・マンガを描くには何が必要？
- ・最低限必要な心構え5カ条
- ・ネタ作りと“ネーム”を描くコツ
- ・手や体の描き方のコツ
- ・原稿用紙の使い方&印刷のルール
- ・使えるアプリ、WEBマンガについて
- ・デジタル作画体験



【受講生の声】

- ・先生や助手の方がすごくていねいに教えてくれて、わかりやすくてよかったです。
- ・今後もっとかいてみようかと思います。楽しかったです。
- ・イラストも描きたい
- ・マンガにとても固いイメージがあったけど、とても楽しそうだと思いました。
- ・同じくらいの時期に、マンガ教室をやってほしいです。
- ・土日、受験シーズン以外にまたやってほしいです。

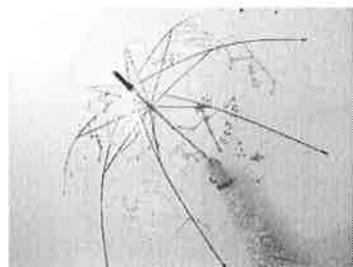


【まとめ】

- ・夏休みの行事として『なは市民の友』に掲載し、7/23から先着順で受付開始したにも拘わらず申込は6人で、開講日に2人の追加申込みで8人（全員女子）での実施となりました。
- ・公民館来館率の低い中学生をターゲットに来館・利用率アップ目的での募集であったが、対象範囲を小学校高学年・高校生まで広げても前日までの申込みは6人という状況で人集めの難しさを実感しました。

星座かさを作ろう！

趣 旨：市内の小学生を対象に星に興味を持ち、物作りの楽しみを感じることを目的とする。
 期 日：平成30年10月11日（木）
 時 間：10:00～12:00
 場 所：那覇市牧志駅前ほしざら公民館（第4学習室）
 対 象：那覇市内の小学4年から6年生
 受 講 料：無料（但し、材料費250円は自己負担あり）
 定 員：30人
 申込人数：8人（うち受講決定人数8人）
 参加延べ人数：8人
 講 師：田端研二（ほしざら公民館長）・宇久淳子（社会教育指導員）



《学習プログラム》

期 日	学習内容	参加人数
10月11日（木）	<p>☆ 星のお話 子ども達が親近感を持つような動物の星座などを用いてクイズ形式に行う</p> <p>☆ ビニール傘を使って星座はやみばんを作る！ 星座の型紙をビニール傘に貼りカラーマジックで北極星や月ごとの星座を写すことで星座の形を覚えさせる。</p>	8人

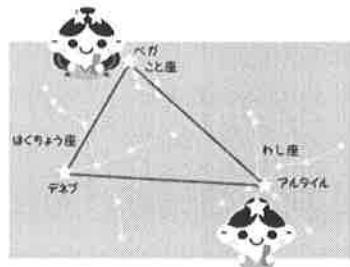
(参加者の声)

- ・ 星座かさを作ったことで星座のことも良く分かつて良かったです。
- ・ おもしろい星座かさを作れて楽しい思い出を作ることができました。
- ・ 楽しく作業が出来ました。
- ・ 星を書くのが楽しかった。
- ・ 次はゲームのプログラミングをしたいです。

(まとめ)

- ・ ほとんどの受講生が親子での参加になり共同作業になっていたので、次は親子ふれあい講座で募集したいと思います。
- ・ 100均のビニール傘を使いカラーマジックで色とりどりに星座を写し個性溢れるオリジナルの星座かさを作ることができました。

また、星のお話ではクイズ等をしながら星座を楽しく学ぶことが出来ました。



[2] 親子ふれあい教室

親子星空教室

趣 旨：天体学習を通じて、豊かな情操と科学心を育てると共に親子のコミュニケーションを深める。
親 子で宇宙や星座の学習することにより、子ども達の理科への感心を高める。

期 間：平成30年9月15日～平成31年2月10日（全6回）

時 間：19:00～21:00

場 所：牧志駅前ほしざら公民館プラネタリウム
ホール、第一学習室、新都心公園

対 象：市内小学4～6年生の親子

受 講 料：無料

定 員：20組40人

申込人数：30組59人（内受講決定人数20組40人）

参加延べ人数：213人

講 師：垣花正男、田端研二、福里美奈子、玉城奈々

受付け方法：8月27日～9月5日までに電話か窓口にて受付
※応募多数の場合抽選



【学習プログラム】

	実施日	学習内容	参加人数
1回目	9月15日(土)	開講式、天体観察会	36人
2回目	10月13日(土)	宇宙について、夏と秋の星座プラネタリウム	35人
3回目	11月10日(土)	望遠鏡の使い方を学ぼう	36人
4回目	12月8日(土)	星座について	37人
5回目	1月12日(土)	星座早見盤を作ろう	28人
6回目	2月10日(土)	スライドショー 春の星座プラネタリウム 閉講式	41人

(参加者の声)

- 【親】**・星の話も良かったです。それだけでなく、自分達で望遠鏡を組み立てたり、星座早見盤を作ったりと色々と出来て子供がとても楽しんで良かったです。
- 【子】**・今4年生で理科の勉強をしています。星や星座を習っています。ここでとっても分かりやすく教えてくれて本当にありがとうございます。
・学校の勉強だけでは分からなかった事などを学習できたので楽しかったです。星空観察会で土星を見た時に周りの輪っかが見えた事にとても興奮しました。

(まとめ)

事前に星の本を読んだり学習してくる生徒が多く、毎回講座を楽しみにしている様子が伝わった。親子で一緒に望遠鏡を組み立てたり、宇宙や星について考えたりと楽しく知識を習得することができた。



5 家庭教育事業

[1] 家庭教育学級

宇宙の学校

趣 旨：JAXA宇宙教育センターのテキストを使い、宇宙や自然科学をテーマにした実験・工作・課題学習を親子で公民館や家庭で行うことで、家庭の教育力を向上させるとともに、好奇心や冒険心を豊かに備えた元気で創造的な子どもを育てる。

期 間：平成30年6月24日～12月9日 全5回

場 所：那覇市牧志駅前ほしづら公民館（ホール）、首里公民館

対 象：那覇市在住・在学の小学校1年生～3年生の児童と保護者

受 講 料：無料（但し、材料費、保険料等、1,500円は自己負担）

定 員：60組

申込人数：182組／364人（うち受講決定人数・親子65組）

参加延べ人数：245組（621人兄弟・姉妹含む）

講 師：並木道義（KU-MA子ども・宇宙・未来の会会長）
藤井晴彦（沖縄自然環境ファンクラブ代表）
澤野・小寺（GODAC国際海洋環境情報センター）
田端研二（那覇市牧志駅前ほしづら公民館館長）

ボランティアスタッフ：沖縄尚学高等学校1年生



《学習プログラム》

日 程	内 容	会 場	参 加 人 数
6月24日	開校式 かさ袋ロケットを作って飛ばそう／風見鳥作成	那覇市牧志駅前ほしづら公民館	親子62組／155人
7月 8日	ホバークラフトを作ろう	那覇市牧志駅前ほしづら公民館	親子57組／143人
9月 9日	プロジェクトWET (水に関する教育プログラム)	那覇市牧志駅前ほしづら公民館	親子49組／123人
10月14日	GODACの紹介 ROV操縦体験	那覇市牧志駅前ほしづら公民館	親子42組／110人
12月 9日	熱気球を飛ばそう 家庭学習レポート発表会 閉校式	那覇市首里公民館	親子35組／90人

(参加児童の声)

- ・熱気球を作り、飛ばしたことが楽しかった。
- ・深海の話で、世界で一番深いところはエベレストよりも深いということを知った。船を作りたいです。

(保護者の声)

- ・みんなの前で発表するのは緊張していましたが頑張って発表できたので良かったです。また少し成長できたと思います。実験や宇宙について興味がより深まって良かったと思います。また家族で一緒に取組めて良かったです。

(まとめ)

「宇宙の学校」は家族での参加が多く、工作があるためか最近は父親との参加が目立ちます。子どもとの話題も増え、家庭の教育力を向上させるのにとても良い傾向だと思います。

[2] 乳幼児学級

にゅうじランド

趣 旨：初めての育児の悩みや産後の身体の変化を同世代と話すことで不安を解消し、コミュニケーションを図ることで仲間作りを目指す。

期 間：平成30年10月2日～30日（毎週火曜日）全5回

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしざら公民館・第4学習室・工作室
studio NAVI（カーゴス2F）

対 象：那覇市在住で6ヶ月から1歳までの乳児を持つ母親

受 講 料：無料（但し教材費・保険料の実費2,000円徴収あり）

定 員：16組

申込人数：14組

参加延べ人数：61組122名



《学習プログラム》

回	期 日	内 容	講 師	参 加 人 数
1	10月2日	親子で手遊び&那覇市の子育て支援って？	那覇市子どもみらい課	12組24名
2	9日	愛情たっぷり、簡単取分け離乳食	那覇市社会教育指導員OB会	14組28名
3	16日	ハンモックヨガ&アロマ石鹼つくり	StudioNAVI・生活の木ラピス	14組28名
4	23日	パステルアート体験	古堅 裕子 (色彩心理コミュニケーター)	10組20名
5	30日	ママの心とからだ・きらきら座談会	百名 奈保 助産師（助産院*きらきら）	11組22名

（受講生の声）

- ☆ 産後はじめて1人になれたので、すごくリフレッシュできた。もっと回数を増やしてもらえたなら嬉しい
- ☆ 育児をするのに必要な情報がもらえ、お友達もでき本当に良かった。託児で子どもと離れられる時間もとても貴重でした。とても楽しかったです。
- ☆ 託児付がとても助かります。もう少し年齢が上がった場合でもこのような機会があると嬉しいです。手作りメダルや修了書思い出になります。
- ☆ ハンモックヨガもアロマ石鹼つくりも同じ建物を活用して行っているのがすごい！と思いました。県庁に勤めているのですが、行政がここまで企画を実現できるのは大変だったと思います。アロマは欲しかった効能が入っており、ハンモックヨガは不思議な感覚でとても気持ち良かったです。大満足です。



（まとめ）

気軽に受講してほしくて、初回は親子一緒に手遊びと読み聞かせを中心に行い、那覇市の子育て支援サービスを知ってもらう事にした。雰囲気つくりが成功したのか、全5回和やかに進み、その後「ちびママ会」としてサークル活動を始めている。担当者として、成長していく子どもを見ながらママたちといろんな話をすることで今後の講座つくりに活かせるヒントをたくさんもらっている。



6 その他の事業

[1] 地域連携事業

いまさらだけど、防災について考えてみよう

趣 旨： 東日本大震災時に公民館を避難所として運営した経験をご講話いただき、災害・防災について改めて考える。

期 日： 平成30年11月1日 木曜日

時 間： 19:00～21:00

場 所： 牧志駅前ほしぐら公民館ホール

対 象： 防災について興味がある方・知りたい方

受 講 料： 無料

定 員： 100名

申込人数： 57名（うち受講決定人数57人）

参加延べ人数： 57名

共 催： 那覇地区社会教育指導員連絡会（那覇・浦添）



《学習プログラム》

	内 容	講 師
講演会	避難所運営に公民館機能をどのように生かしたか	坂本忠厚 宮城県柴田町立柴田小学校長
パネルディスカッション	防災士である稻垣先生をコーディネーターに東日本大震災後、現地で地域の方々と交流した経験を持つ方々をパネリストとして迎え、防災について語ってもらう。	稻垣 暁 コーディネーター (防災士・社会福祉士・沖縄国際大学非常勤講師) 南 信之助 パネリスト (繁多川公民館館長) 新川 純子 パネリスト (元浦添市中央公民館館長)

(参加者の声)

- ☆ 防災の講演は重いテーマが多く暗い気持ちになる事がありますが、今日の講演会は坂本先生の優しいお人柄からか、とてもあたたかい気持ちになった講演会でした。やはり人ですね。
- ☆ 東日本大震災という大変な災害だったので、もっと大変な避難所の様子を想像していたが、坂本先生は本当に手を使って温かな人のぬくもりある避難所運営をされており驚きました。こんなこともできるだ、可能なんだ、と勇気づけられました。大変な中だからこそ、人ととの交流を大事にすることが大切なのだとよくわかりました。公民館だから出来る役割、伝わってきました。
- ☆ 体験からくる講話は大変都合ったと思います。パネルディスカッションもたくさんの学びがありました。今後も防災講座を継続してほしいです。
- ☆ 地域とのつながり！災害時には特に人の力・地域の力！連携することが大事！だと認識できた。貴重なお話を聞けて良かった。坂本先生のお話はわかりやすく、リコーダーとか素敵な芸を披露してもらえ、参加者みんなで楽しめ良かったです。

(まとめ)

はじめての防災講座、県外からの講師、しかも那覇地区社会教育指導員連絡会（那覇・浦添）との共催と、とても緊張したが、多くの仲間に助けられ開催することができた。講師もパネリストも素晴らしい参加者からは「今後も定期的に防災講座を開催してほしい」「地域の自治活動に生かせると思うので良かった」など次回への希望が多く出ており、次年度へつなげる講座つくりになった。



[2] プラネタリウム事業

星空観望会

趣 旨：宇宙や自然科学への関心を高め、市民の知的好奇心に応える。
 内 容：天体望遠鏡を使い、惑星や月を観察。四季それぞれの星座は肉眼で観察。
 期 間：平成30年4月1日～平成31年3月1日（全12回）19時30分～21時
 場 所：ほしざら公民館、シーサー前広場、新都心公園
 対 象：公民館来館者及び通行人（観光客含む） 小学生と保護者
 講 師：田端研二、福里美奈子、玉城奈々、宇久淳子、星空（準）案内人
 受講料：無料
 定 員：なし
 参加延べ人数：約2,010人

【学習プログラム】

開催日	観望会名	内容	場所	参加人数
4/20	市民観望会	月・金星	公民館外廊下	約25人
5/25	市民観望会	金星	公民館外廊下	約20人
6/21	学校観望会	金星、木星、月	真和志中学校	約35人
6/29	市民観望会	水星・金星・土星	公民館外廊下	約70人
7/7	七夕観望会	金星・木星・土星	シーサー前広場	約250人
7/27、8/3、 8/10、8/17	夏の天体観察会	月・火星・木星・ 金星・土星	公民館外廊下	約300人
7/31	火星大接近観望会	火星・金星・木星・土星	新都心公園	約1000人
9/28	市民観望会	雨天のため中止	公民館外廊下	—
10/27	学校観望会	土星、星座	安謝小学校	約250人
10/26	市民観望会	火星・土星	公民館外廊下	約50人
3/1	市民観望会	水星	公民館外廊下	約10人

【まとめ】

平成30年度に開催された観望会で1番の注目は、7月31日に行われた火星大接近観望会だった。火星が15年ぶりに地球に大接近となり、ニュースなどでも大きく取り上げられていた。そのお陰で、観望会は約1,000人が参加してくれた。当日はいくつかのテレビ局が取材に入り、会場は盛り上がりを見せた。この時は火星の他にも、金星・木星・土星も見ごろを迎え、4つの惑星を同時に見る事ができた贅沢な観望会だった。シーサー前広場での七夕観望会は、参加者が望遠鏡を覗くのを楽しみに早くから集まってくれた。国際通りを道行く人達も望遠鏡を覗き、初めて見る惑星の姿に感激の声をあげていた。夏の天体観察会では、毎週参加してくれる親子や、星座早見盤や図鑑を持参し星空観察する子供など、熱心に取り組む姿が印象的だった。今年度は全体的に天候に恵まれ、雨天中止になった観望会は1回のみだった。毎回ボランティアの方が手伝ってくれ、スムーズに観望会を進める事ができた。観望会をきっかけに、さらに星空に興味を持って観察を続けて欲しいと願っている。



プラネタリウム特別無料投影 星と音楽のコラボ（夏）

ハワイアンヒーリング～星と太陽の花びら～

趣 旨：ハワイの星空を眺めながらハワイの音楽を聴き、よりプラネタリウムに興味を持つことを目的とする。

期 日：平成30年6月9日(土)

時 間：(第一部) 16:00～16:50、(第二部) 17:30～18:20

場 所：牧志駅前ほしづら公民館プラネタリウム

対 象：星と音楽が好きな小学生以上の方

観覧料：無 料

定 員：130人（65人×2回）

申込人数：86組163人（内受講決定人数92組159人）

参加人数：155人

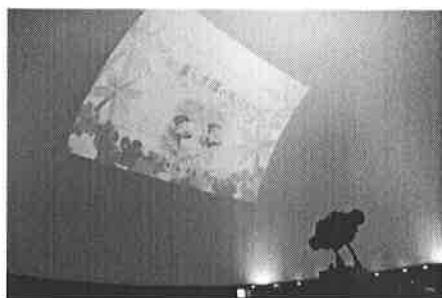
回	時間	人数	内容	演奏者
第一部	16:00～16:50	71人	プラネタリウムの星や映像を眺めながら、ハワイアン音楽を生演奏で味わう。	Lala Ka Pua 島袋亜也子(ボーカル・キーボード)
第二部	17:30～18:20	84人		大城貴子 (ボーカル・ウクレレ)

参加者の声

- ・ハワイアンの音楽とハワイの星空に癒された。
- ・無料でこんなに質の高いイベントがあるなんて、感激。
- ・もっと演奏を聴いていたかった。

まとめ

今回のコラボは夏にぴったりのハワイアンを企画した。演奏者がとても協力的で、暗闇の中でさらに音の微調整が難しい中でも快く演奏してくれた。ハワイの美しい画像や、マウナケア山頂から眺めるような漆黒の星空を再現し、ウクレレと Lala Ka Pua の透き通る歌声で、まるでハワイにいるような空間が作れたと思う。北海道から応募し当選して参加してくれた方もいて、とても喜んでくれた。



プラネタリウム七夕特別無料投影

趣 旨：毎年、多くの人が星空を見上げる七夕の時期に、多くの市民に星空や宇宙に興味を持ち、プラネタリウムに親しむ機会とする。

期 日：7月7日(土)・8日(日)

場 所：牧志駅前ほしづら公民館プラネタリウム

対 象：プラネタリウム来館者

観覧料：無 料

定 員：各回80人

参加人数：671人

受付方法：入場整理券配布はすべての回共に、13時にプラネタリウムドーム前で行う。

より多くの方々に観覧して頂く為に、整理券は一度に1回分、1人2枚までの配布。

12時30分の回は早い時間から多くの方が並んでいたために追加投影とした。

7月7日(土) 【投影プログラム】

回	時 間	投 影 内 容	人 数
1	12:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	44人
2	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	84人
3	15:00	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	83人
4	16:00	幼児・小学校低学年向け 「おーいアカナー！夜空を見上げよう」	64人
5	17:00	小学校高学年～大人向け 「宇宙と島の大冒険」	84人

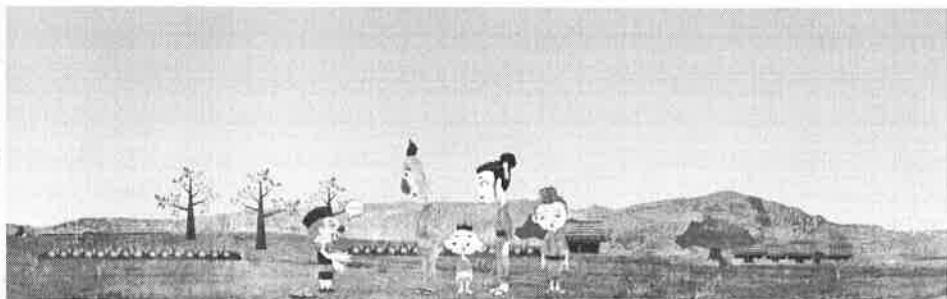
7月8日(日) 【投影プログラム】

回	時 間	投 影 内 容	人 数
1	12:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	60人
2	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	84人
3	15:00	幼児・小学校低学年向け 「おーいアカナー！夜空を見上げよう」	84人
4	17:00	小学校高学年～大人向け 「宇宙と島の大冒険」	84人

《まとめ》

毎年恒例の七夕無料投影を今年は8日・9日の二日間行った。今年も多くの方々にプラネタリウムを楽しんでもらえた。例年通り入場券はすべての回ともに13時の配布としたので、スムーズに入場券の配布を行うことができた。初めてプラネタリウムを観覧したこどもたちも多かった。

4回投影の予定だったが、今年も早い時間から多くの方々が並んでいたため、12:30の回を増やして待ち時間を短くした。



一夜漬け！チャレンジ夏の星空案内

趣 旨：夏の星座や星の知識を身につけて、夏休みのキャンプやイベントなどで家族や地域の人々に星空を案内できるようになることを目的とする。

期 日：平成30年7月14日（全1回）

時 間：19:00～21:00

場 所：牧志駅前ほしざら公民館
プラネタリウムホール、第一学習室

対 象：市内在住・在勤 18歳以上の星空初心者

参 加 料：無料

定 員：20人

申込人数：26人

参加延べ人数：22人

講 師：田端研二、福里美奈子、玉城奈々



《学習プログラム》

- ・プラネタリウムで夏の星空と案内のポイントを学習する。
- ・星空観察をする際の注意点を学習する。
- ・天体望遠鏡を組み立てて天体（木星・土星）の観察を行う。

(参加者の声)

- ・静かな講座かと思いましたが、最後はみなさんアグレッシブで楽しかったです。また参加したい。
- ・シーズンごとにやって欲しいです。望遠鏡の取り扱い方がよくわかった。
- ・望遠鏡で初めて星を観察した。とてもきれいで感動した。
- ・プラネタリウム解説わかりやすく感動した。秋も開催してもらえるとうれしい。
- ・無料でこんなに学べてとてもとても楽しかったです。また星の講座開催して下さい。
- ・学生時代に戻って楽しかったです。

(まとめ)

参加者のみなさんが望遠鏡で見た木星や土星などに感動していた様子が印象的だった。また違う季節にも開催して欲しいという要望に応えられるようにしたい。



プラネタリウム特別無料投影 星と音楽のコラボ（冬）

星と奏でるナハトムジーク

趣 旨：1年の締めくくりに、季節に合った音楽を聴きながら満天の星を楽しんでもらう。

コンサートやライブではなく星空とのコラボレーション投影を行うことでプラネタリウムに親しむ機会とする。

期 日：12月15日（土）

場 所：牧志駅前ほしざら公民館プラネタリウム

対 象：星と音楽が好きな小学生以上

観 覧 料：無 料

定 員：130人（65人×2回）

申込人数：148組271人（内受講決定人数94組154人）

参加延べ人数：152人



回	時間	人数	内容	演奏者
第一部	16:00～16:50	79人	プラネタリウムの星や映像を眺めながら、フルート・チェロ・キーボードの生演奏を楽しんでもらう	渡久地 圭（フルート） 金城 吏美（キーボード） ゆ一げん（チェロ）
第二部	17:30～18:20	73人		

参加者の声

- ・小学生の孫ときました。興味をひきとてもよい企画だと思った。
- ・音楽と星のコラボ最高でした。満天の星、素晴らしい演奏を聴きながら素晴らしい心地よい時間。
- ・ロマンチックでとてもよかったです。無料なのにとても内容の濃い1時間でとてもよかったです。
- ・高校生の娘との思い出ができました。来年もこのメンバーでやって欲しい。

まとめ

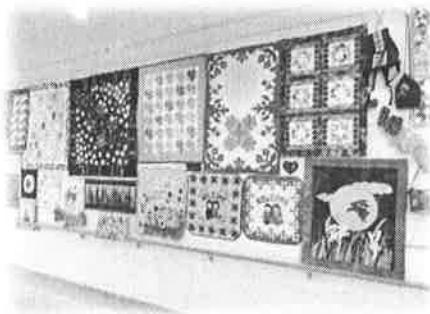
プロとして活躍しているメンバーの演奏がとても素晴らしく、作り上げたかったヨーロッパクリスマスのイメージとぴったりだった。選曲も星やクリスマスのテーマに合わせ、観覧者からはとても高い評価を頂いた。往復はがきでの応募にもかかわらず定員をはるかに超える数の申込みがあった。今後とも星空のイメージに合わせたいいろいろな音楽家とのコラボレーションを行いたい。



7 公民館まつり

公民館まつり風景

☆ 作品展示の部 ☆



☆ 舞台の部 ☆



☆ 体験コーナー ☆



☆ プラネタリウム ☆



☆ 社交ダンスパーティー ☆



サークル合同作品展

会場：公民館ロビー
■写真・書道展
2月4日(月)～2月10日(日)
9時～21時 ※10日は15時まで

■作品展 ☆パッチワーク、川柳、絵画、俳句など
2月12日(火)～2月17日(日)
9時～21時 ※17日は15時まで

サークル舞台発表

会場：公民館ホール

2月16日(土)・2月17日(日) 正午開演
☆詩吟、三線、合唱、太極拳
大正琴、日舞、琉舞
ハワイアンフルなど

社交ダンス

会場：公民館ホール
2月16日(土) 18時30分～20時45分
13時30分／15時／17時

アラネタリウム

2月16日(土) ※入場券は13時から配布します
13時30分／15時／17時
☆みんなで遊ぼう！ほしざらクイズ大会／
星空準案内人が解説に挑戦！>他
2月17日(日) ※入場券は13時から配布します
13時30分／15時／16時／17時
<星空クイズ大会／月にはだれがすんでいるの？>他
各回定員 80名

体験コーナー

2月16日(土)

■手話体験 <はとの会>
10時～12時 (第1学習室)
■ブクブクー茶 <伝統ブクブクー茶保存会>
12時～15時 (実習室)

■囲碁体験 <なはー碁会>
13時30分～17時
(1階外・雨天時は第1学習室)

2月17日(日)

■折り紙体験 <折り紙サークル「折りづる」>
10時～12時 (第1学習室)
■食育体験 <しまな～会>
10時～12時 (実習室)
■パソコンでお絵かき体験 <あした葉会>
13時～16時 (実習室)

軽食など

2月16日(土)
■手作りアクセサリー等 母子寡婦社会本所支部
12時～15時 (ホール前) ※売り切れ次第終了
2月16日(土) 17日(日)
■軽食 移動バーラー◆
12時～17時 (ベランダ) ※売り切れ次第終了

図書館コーナー

2月16日(土)
☆特別無料投影☆
■星空クイズ大会
■星空準案内人が解説に挑戦！他
2月17日(日)
■星空クイズ大会
※詳しくは「牧志駅前ほしざら図書館」へお問合せください。(TEL:917-3450)

主催：牧志駅前ほしざら公民館実行委員会
お問合せ：牧志駅前ほしざら公民館(tel:917-3443)

第3回

牧志駅前 ほしざら公民館まつり

平成31年 2月4日(月)～2月17日(日)

あなたでもお気軽に
お越しください！

サークル合同 作品展

■写真・書道展
2月4日(月)～2月10日(日)
9時～21時 ※10日は15時まで

■作品展
2月17日(日)
13時30分～17時
(1階外・雨天時は第1学習室)

体験コーナー

2月16日(土)
午前：■手話
午後：■ブクブクー茶
■囲碁

2月17日(日)
午前：■折り紙
午後：■パソコンお絵かき
■作品展

サークル 舞台発表

2月16日(土)
午前：■手話
午後：■ブクブクー茶
■食育体験

2月17日(日)
午前：■手話
午後：■折り紙
■最終日は15時まで
■作品展

★軽食
お見逃しなく！

アラネタリウム

2月16日(土)
■移動バーラーが来ます
ベトナム料理 他

2月17日(日)
■最終日は15時まで

社交 ダンス

2月16日(土)
18:30開始
■ミラーボールが
煌めく中でダンス！

図書館 コーナー

2月17日(日)
11:00～11:30

■キラキラおはなし会
「世界の絵本」

※詳しくは左をご覧ください♪

公民館まつり プラネタリウム特別無料投影

趣 旨：公民館まつり開催に合わせ、より多くの方々にプラネタリウムに親しむきっかけとする。

当館で星空案内人講座を受講し活動している案内人の投影実技の回を設け、日頃の活動の成果発表の場とした。また、13時30分の投影は来場者が楽しんでもらえるように、ほしざらクイズ大会を行った。回答者には2019年の主な天文現象カレンダーと一般投影スケジュールのカードをプレゼントした。

期 日：2月16日（土）、2月17日（日）

場 所：牧志駅前ほしざら公民館プラネタリウム

対 象：全般

観覧料：無料

定 員：各回80人

参加延べ人数：390人（16日148人 17日242人）

星空（準）案内人解説者：山下 とも子

《投影プログラム》

2月16日（土）

時 間	内 容	参加人数
13:30～14:10	幼児向け「みんなで遊ぼう♪ほしざらクイズ大会☆」約35分	40人
15:30～16:10	幼児向け「おーい！アカナー」星空解説含む 約35分	46人
17:00～17:40	高学年～大人向け「星空（準）案内人 解説チャレンジ」 約35分	62人

2月17日（日）

時 間	内 容	参加人数
13:30～14:10	幼児向け「みんなで遊ぼう♪ほしざらクイズ大会」 約35分	56人
15:00～15:40	幼児向け「月にはだれがすんでいるの？」星空解説含む 約35分	78人
16:00～16:40	高学年～大人向け「宇宙船さいおん号で出発」星空解説含む約35分	41人
17:00～17:45	高学年～大人向け「美ら島星の旅（標準語）」星空解説含む約45分	67人

（まとめ）

当館の『星空案内人講座』を受講した星空（準）案内人の発表の場として案内人チャレンジ投影を行った。今回は1人のチャレンジとなったが、じっくりと練習し初めてとは思えないほど、落ち着いた解説をされた。13時30分の幼児向けの投影では来場者に楽しんでもらえるように、ほしざらクイズ大会を行った。ちびっ子から大人までクイズに参加できるように工夫をし、回答者には天文現象のカレンダーを記載したカードをプレゼントした。他にも5つの番組を投影し、多くの来場者にプラネタリウムに親しむきっかけになったと思う。例年のように、今年もボランティアのみなさんに受付などの協力をしてもらった。

